

動き出す

蔵田孝子

せつかちに三月は過ぐ朝の窓
白梅や午後は車の来ない道
忘れたるつもり
の涙とりぐもり
頬杖を解き北窓を開きけり
チューリップというつかりと恋をして

水草生ふ遊覧船の試運転
斜交に木道組まれ暖かし
チェーンソーの叫ぶ林道薄霞
炊き出しの大かまど据ゑ寺日永
未練てふ微熱のありて花万朶
百千鳥悲しき時もよき日にも
動き出す空よころよミモザ咲く